

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英語 C (RE)	
科目基礎情報							
科目番号	0088		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	生産デザイン工学科 (共通科目)		対象学年	5			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材	Discuss the Changing World , 仲谷都、油木田美由紀、山崎勝、Chad L. Godfrey, 成美堂						
担当教員	伊藤 晃,中野 秀子						
到達目標							
サイエンスや日常生活の変化に関する記事のニュースを聞き取り、科学関連の英語語彙を理解し、読んで理解できる。グローバル社会で起こっている諸問題を英語で理解し、特にデータに基づいた論理的な表現を読み取る力を養う。さらにそれらの内容について Clitical thinking を行って理解を深め、各自の意見を主張する英語表現を学び、論理的な英文を書く力を養うことを目標とする。他者の意見を聞く力を養うために協働でDiscussionをし、最終的に結論を英語で書き、英語で発表する力も養う。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	各課の内容を 8 割以上理解できる。		各課の内容を 7 割以上理解できる。		各課の内容を 6 割未満しか理解できない。		
評価項目2	各課の英文法を 8 割以上理解できる。		各課の英文法を 7 割以上理解できる。		各課の英文法を 6 割未満しか理解できない。		
評価項目3	各課の語彙を 8 割以上理解できる。		各課の語彙を 7 割以上理解できる。		各課の語彙を 6 割未満しか理解できない。		
評価項目 4	各課のテーマに関して自分の意見を論理的で8割以上理解できる英文を書くことができる。		各課のテーマに関して自分の意見を論理的で 7 割以上理解できる英文を書くことができる。		各課のテーマに関して自分の意見を論理的で理解できる英文を 6 割未満の正確さでしか書くことができない。		
評価項目 5	総合評価が8割以上の発表ができる。		総合評価が 7 割以上の発表ができる。		発表の総合評価が6割未満		
学科の到達目標項目との関係							
準学士課程の教育目標 E④ 歴史・文化・国語・外国語を学び、コミュニケーションするための基礎的な教養を身に付ける。専攻科教育目標、JABEE学習教育到達目標 SE④ 歴史・文化・日本文学 (国語)・外国語を学び、多様な文化を理解できる。専攻科教育目標、JABEE学習教育到達目標 SE⑤ 英語による基本的な会話ができる。							
教育方法等							
概要	サイエンスや日常生活の変化に関する記事のニュースを聞き取り、関連の英語の語彙や表現を理解し、読解力を養う。さらにデータに基づいた英語表現とDiscussion英語表現を学んで、Clitical Thinkingによって自分の意見を考え、グループ内で自分の意見を英語で表現する。最終的に協働でグループ内のDiscussionの結果をまとめてクラスで発表する。						
授業の進め方・方法	本科目は2週で1つのテーマについて学習する。1週目は個人のリスニングを含むテーマの内容を教科書のワークを使って学習し、データの解釈、自分の意見へと発展させていく。2週目はグループで教科書のワークに従ってDiscussionを行う。Discussionや主張の英語表現を学びながら最終的にはグループの意見をまとめ、テーマの主張について賛成、反対、両方の主張と理由を英作しクラスで発表する。学期末にのテーマの中から1つ選んで自分の意見をPPTを使って発表する。後期も同様に行う。また、毎回の予習が重要になるので、配布する「学習の記録」を各自のパートナー同士で課題履行の記録をして最終日に提出する。						
注意点	指示された予習復習を必ず行うこと。 予習 (1) IntroductionとReadingの問題を解いておくこと。(2) 同Unit内の他の 未知語についても調べておくこと。 復習 : (1) 翌週のDiscussion の準備として自分の意見をSep1に記入してくること						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業の進め方、評価方法、英語の学び方等について説明する		授業の進め方、評価方法等の理解		
		2週	Artificial intelligence: How will humans live with AI?		テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。		
		3週	Artificial intelligence: How will humans live with AI?		Cliticalな議論ができる。グループで結論を英語で発表できる。		
		4週	Business: The sharing economy		テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。		
		5週	Business: The sharing economy		Cliticalな議論ができる。グループで結論を英語で発表できる。		
		6週	Food waste: Food loss and consumers		テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。		
		7週	Food waste: Food loss and consumers		テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。		
		8週	Environmental problems: Plastic waste		テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。		
	2ndQ	9週	Environmental problems: Plastic waste		テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。		
		10週	The Japanese mentality: Do they have good manners?		テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。		
		11週	The Japanese mentality: Do they have good manners?		テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。		
		12週	Space exploration: Will space benefit our future?		テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。		
		13週	Space exploration: Will space benefit our future?		Cliticalな議論ができる。グループで結論を英語で発表できる。		
		14週	最終プレゼン準備		与えられたフォーマットを使ってグループで選んだテーマのPPTを作成し、発表の準備をする。		

		15週	最終プレゼンテーション&まとめ	聴衆にわかる英文、発音で自+D2:D17分の意見を表現することができる。
		16週	期末試験	前期に学んだ内容を確認する。
後期	3rdQ	1週	後期の授業の進め方、Immigration: Foreign residents in Japan	授業の進め方、評価方法等の理解、テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現できる。
		2週	Immigration: Foreign residents in Japan	Cliticalな議論ができる。グループで結論を英語で発表できる。
		3週	Education: Online learning	テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。
		4週	Education: Online learning	Cliticalな議論ができる。グループで結論を英語で発表できる。
		5週	Science: The new agricultural revolution	テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。
		6週	Science: The new agricultural revolution	Cliticalな議論ができる。グループで結論を英語で発表できる。
		7週	DNA: Advances in DNA technology	テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。
		8週	DNA: Advances in DNA technology	Cliticalな議論ができる。グループで結論を英語で発表できる。
	4thQ	9週	Relationship with other countries: Trade war	テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。
		10週	Relationship with other countries: Trade war	Cliticalな議論ができる。グループで結論を英語で発表できる。
		11週	Right to be forgotten: Privacy and freedom of expression	テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。
		12週	Right to be forgotten: Privacy and freedom of expression	Cliticalな議論ができる。グループで結論を英語で発表できる。
		13週	最終プレゼンテーション準備	テーマの内容を理解し、データの特徴を英語で表現し、英語を使って議論できる。
		14週	最終プレゼンテーション	聴衆にわかる英文、発音で自分の意見を表現することができる。
		15週	最終プレゼンテーション&まとめ	聴衆にわかる英文、発音で自分の意見を表現することができる。
		16週	期末試験	後期に学んだ内容を確認する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	課題・小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	50	40	0	0	10	0	100	
基礎的能力	50	40	0	0	10	0	100	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	